

様式第 5 号（第 7 条関係）

平成 23 年度 第 2 回
みどり市入札監視委員会 会議審議概要

開催日	平成 23 年 8 月 29 日（月）	
開催場所	みどり市役所 笠懸庁舎 第 1 会議室	
出席委員	白田佳充委員長、天川洋副委員長、植木誠委員	
審議対象期間	平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	
抽出案件	件数	<p>（備考）</p> <p>議案第 1 号として、みどり市入札監視委員会設置要綱第 2 条第 1 号の規定に基づき、入札方式別発注工事等総括件数及び入札及び契約手続の運用状況等について、資料を基に事務局から説明を行った。</p> <p>議案第 2 号として、みどり市入札監視委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定に基づき、今回の抽出委員である植木委員から次のとおり抽出結果の報告が行われた。</p> <p>（抽出結果報告）</p> <p>平成 22 年度下半期発注工事等 92 件から、7 月 25 日に抽出作業を行った。過去 5 回の抽出を勘案し、執行方式別、落札率、工種（業種）別、所管課を考慮した。</p> <p>第 1 回の委員会（5 月 16 日開催）の指示事項であった桐原配水場耐震補強工事の内訳書と設計書の比較検証について、水道工務課より報告を行った。</p> <p>議案第 3 号として、平成 22 年度下半期発注工事等の審議について、担当課長から工事等の概略説明に続き、次のとおり審議が行われた。</p> <p>審議概要については別頁のとおり。</p>
条件付き一般競争入札	3	
指名競争入札	3	
随意契約	2	
合計	8	
委員会による意見の具申内容	特になし	

質問【委員】	回答【所管課又は事務局】
<p>1.工 事 名：農山漁村地域整備交付金（景観・生態系保全整備）小沼地区ため池護岸改修工事 入札方式：条件付き一般競争入札 工 種：土木一式 契約金額：28,612,500 円（税込み）</p>	
<p>入札金額にあまり差がない。内訳書のチェック体制を更に強化し、そのことにより業者も競争原理による発展があるものと思われる。応札力向上のためにも、内訳書の検証を行ってください。</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>2.工 事 名：雨水排水事業 身無第 5 雨水幹線管渠築造工事 入札方式：条件付き一般競争入札 工 種：土木一式 契約金額：192,150,000 円（税込み）</p>	
<p>落札率が高かった点を重視し、当案件を抽出しました。</p>	<p>-</p>
<p>入札した業者が全てJVであるのはなぜですか。</p>	<p>1 億円以上の土木一式工事は、JVの対象工事と規定されています。</p>
<p>入札金額で、一番安い価格と一番高い価格の差は 450 万円となっています。担当課として、どのように考えていますか。</p>	<p>競争原理があったのではないかと考えています。</p>
<p>適正な競争行為と考え、企業努力を認識しなければなりません。しかしながら、予定価格が高く、かつ一般競争で、それほど差がないという事実は、驚いています。</p>	<p>-</p>
<p>3.工 事 名：サンレイク草木ホール及びレストラン空調工事 入札方式：条件付き一般競争入札 工 種：管 契約金額：8,809,500 円（税込み）</p>	
<p>落札率が低かった点を重視し、当案件を抽出しました。</p>	<p>-</p>
<p>最低制限価格での応札は、企業努力と考えます。ただし、安かろう悪かろうでは問題がありますので、しっかりと検証してください。</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>工事内訳書は検証しましたか。</p>	<p>課内で行いました。</p>

<p>4.工 事 名：市道1級4号線(東幹線2号)配水管更新工事 入札方式：指名競争入札 工 種：水道施設 契約金額：3,003,000円(税込み)</p>	
<p>落札率が高めであり、かつ、工種も重視し、当案件を抽出しました。</p>	-
<p>設計金額と比較して、工期が長いのは、なぜでしょうか。</p>	<p>同じ場所で、建設課において布設替・拡幅工事が行われていましたので、その工事の進捗状況を鑑み、工期が長くなりました。また、震災の影響で、6月30日に工期変更となりました。</p>
<p>5.業 務 名：市営住宅浄化槽改築工事設計業務(2団地) 入札方式：指名競争入札 業 種：コンサル 契約金額：1,344,000円(税込み)</p>	
<p>落札率が低いという点、またコンサルという業種で抽出しました。</p>	-
<p>予定価格の設計について、述べてください。</p>	<p>県の歩掛をもって、積み上げ方式で算定しました。</p>
<p>6.業 務 名：市営住宅(六丁目団地)解体工事 入札方式：指名競争入札 業 種：とび・土工・コンクリート 契約金額：2,940,000円(税込み)</p>	
<p>解体工事という特殊性、落札率の低さを重視し、抽出しました。</p>	-
<p>工事内訳書の分析を行いましたか。</p>	<p>はい。解体で使用する重機を自社所有か他社から借り受けるか、また企業努力の部分で、諸経費については計上している業者、計上していない業者もありました。</p>
<p>落札率が低いということは、価格設定に問題があるのではないのでしょうか。</p>	<p>市場調査が反映されている県の基準で設定せざるを得ず、適正であると考えます。</p>
<p>廃材等の処理の確認は行っていますか。</p>	<p>マニフェストの作成が義務づけられており、処分場までの工程の中で関わる業者の日付や確認印が押され、業者より市へ提出があります。マニフェストは法定処理となっています。</p>

<p>7. 業 務 名 : (仮称) みどり市地域活動支援センターおおま新築工事実施設計及び工事監理 業務委託</p> <p>入札方式 : 随意契約</p> <p>業 種 : 建築工事実施設計及び工事監理</p> <p>契約金額 : 2,992,500 円 (税込み)</p>	
<p>落札率が 100%、設計と監理という点を重視し、抽出しました。</p>	-
<p>なぜ落札率が 100%となったのでしょうか。</p>	<p>最低価格で提出のあった金額で、予算を計上したことにより、100%となりました。</p>
<p>経過の問題点はありましたか。</p>	<p>当初は民家の使用を考えましたが、太田土木事務所から福祉施設として使用する場合、階段の勾配や非常口等大幅な改修が必要との指摘がありましたので、新築工事に至りました。また、県の補助金が年度内ということもあり、随意契約となりました。</p>
<p>複雑な事務処理の過程と内容であるため、当該資料をもって適切だったとは判断できません。次回の委員会で、どういう経緯であったかをまとめ、改善点もあると思いますのであわせて報告してください。</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>8. 業 務 名 : 平成 22 年度 笠懸野文化ホール舞台機構第 1 期改修工事</p> <p>入札方式 : 随意契約</p> <p>業 種 : 機械器具設置</p> <p>契約金額 : 6,825,000 円 (税込み)</p>	
<p>舞台機構に係る特殊工事、希な工種である点を重視し、抽出しました。</p>	-
<p>設計の見積についての手順を述べてください。</p>	<p>文化ホール全体が特殊であり、施工から何年で修繕するという計画があり、予算計上を行っています。</p>
<p>特殊な業務を扱う業者は全国的にあるのでしょうか。</p>	<p>全国的にはありますが、突発的な修繕等対応していただける業者として、当初から携わっている業者を選定することになりました。</p>
<p>今回の案件は、業者が決まっていたような感じがしますが、いかがでしょうか。</p>	<p>こういった公共ホールは、殆どが建設時と同じ業者であり、修繕するときには緊急性が高いケースがあり、また施工から携わった業者しかすぐに手に入らない部品や、その業者しか持っていないノウハウがあり、特殊性から頼らざるを得ません。</p>